

# ウド新品種「栃木芳香1号」および「栃木芳香2号」の育成

## 1. 試験のねらい

ウドの年内早出し栽培(11月下旬～12月出荷)は、高単価であり収穫期間の延長による経営規模拡大が望める。しかし、現在の主力品種「紫」は休眠が深いため、年内早出し栽培を行うと軟化茎の腐敗による収量および品質の低下が問題となる。そこで、年内早出し栽培が可能で収量および品質が優れる品種を育成する。

## 2. 育成経過

平成15年に「群馬在来系統」を種子親、「改良伊勢」を花粉親として交配を行い、21個体の実生を得た。平成19年から選抜を始め、軟化茎が白く年内収量の優れる2系統を選抜し、平成19年に「うど栃木1号」および「うど栃木2号」の系統名を付した。平成21年および平成22年に現地適応性検定試験を行った結果、両系統とも収量および軟化茎の外観が優れ、年内早出し栽培に適した特性を有することが実証された。平成23年3月に「栃木芳香1号」および「栃木芳香2号」として品種登録申請を行った。

## 3. 特性の概要

「栃木芳香1号」および「栃木芳香2号」は、「紫」と比較して、次のような特徴がある。

- (1) 株養成期の茎長および草丈は、「栃木芳香1号」は短く、「栃木芳香2号」はやや短い。(表-1)。
- (2) 根株重は、概ね「栃木芳香1号」は同程度、「栃木芳香2号」は重い。不時萌芽は、両品種とも少ない(表-2)。「栃木芳香2号」は栽培条件によって大芽・多芽の株になりやすい(データ省略)。
- (3) 年内収量は、軟化・緑化栽培ともに両品種は多い(表-2)。
- (4) 両品種とも軟化茎のアントシアニンが少ない。軟化茎の曲がりとは、「栃木芳香1号」は軟化・緑化栽培ともに少なく、外観が非常に優れる。「栃木芳香2号」は、軟化栽培では軟化茎の曲がりと同程度だが、緑化栽培では少ない(表-3)。

## 4. 栽培上の留意点

- (1) 倒伏防止のための摘心は生育状況に応じて行う。
- (2) 「栃木芳香2号」は、軟化栽培において軟化茎の曲がりが発生しやすく、秀品率が低下する場合がある。
- (3) 両品種は、年内早出し栽培のみならず、年明け後の収量・品質も優れる(データ省略)。

## 5. 成果の要約

「栃木芳香1号」は、「紫」に比べて根株の重さや芽数は同程度であり、軟化茎の品質低下の原因となる不時萌芽が非常に少ない。また、年内収量はやや多く、軟化茎は曲がり少なく白いことから外観品質が非常に優れている。

「栃木芳香2号」は、「紫」に比べて根株が重く、大芽・多芽であるため極多収性である。また、軟化栽培では軟化茎の曲がりが多いものの、緑化栽培では少なく、軟化茎にアントシアニンが少なく白い。

(担当者 園芸技術部 野菜研究室 半田有宏)

表一 1 ウド新品種の株養成期の生育（平成22年度、那須塩原市）

品種名	萌芽期 (月/日)	茎長 (cm)	草丈 (cm)	茎のアントシアニン	黒斑病	倒伏	湿害の有無
栃木芳香1号	5/18	23	78	3	1	0	0
栃木芳香2号	5/11	38	88	0	2	0	0
紫	5/10	44	102	3	3	0	0

注1. 茎長、草丈、茎径は7月13日、倒伏、湿害、黒斑病は随時調査した。

2. 茎のアントシアニン、黒斑病、倒伏、湿害は、0：無、1：少ない、2：中程度、3：やや多い、4：多い、を達観で評価した。

表一 2 ウド新品種の根株および年内収量（平成22年度、那須塩原市）

軟化栽培<sup>注1</sup>

品種名	伏せ込み時の根株				収穫日 (月/日)	茎長 (cm)	草丈 (cm)	1茎重 (g/茎)	可販 茎数 (本/株)	軟化物 可販収量 (g/株)
	根株重 (kg)	大芽数 (個/株)	1芽径 (mm)	不時萌芽						
栃木芳香1号	2.0	4.9	25	1		93	95	547	3.2	1749(175)
栃木芳香2号	2.7	5.0	28	2	12/13	80	88	641	3.6	2276(228)
紫	2.1	4.9	25	4		102	115	688	1.5	998(100)

緑化栽培<sup>注2</sup>

栃木芳香1号	2.0	5.9	26	1	12/3	34	39	239	4.5	1065(142)
栃木芳香2号	2.2	6.7	26	2	12/5	36	39	246	4.2	1022(137)
紫	1.8	6.0	25	4	12/1	37	40	223	3.4	749(100)

注1. 根株堀上げ：11月16日（5℃以下低温遭遇96時間） ジベレリン処理（80ppm瞬間浸漬）：11月16日 伏せ込み：11月19日

2. 根株堀上げ：11月9日（5℃以下低温遭遇62時間） ジベレリン処理（80ppm瞬間浸漬）：11月9日 伏せ込み：11月11日

3. 大芽は、短径15mm以上の芽。

4. 不時萌芽は、芽の開きや伸長程度の多少を目安に、0：無し、1：少ない、2：中程度、3：やや多い、4：多い、を達観で評価した。

表一 3 ウド新品種の軟化茎の外観品質（平成22年度、那須塩原市）

軟化栽培

品種名	茎の条線	葉柄条斑	腐敗・傷み (箇所/本)	曲り程度
栃木芳香1号	0	1	4.5	1
栃木芳香2号	0	1	3.8	2
紫	0	3	4.9	2

緑化栽培

栃木芳香1号	0	1	0.8	1
栃木芳香2号	0	1	1.2	2
紫	0.5	3	0.7	3

注1. 茎の条線、葉柄条斑はアントシアニンが発生し赤く着色している部分であり、

0：無し、1：少ない、2：中程度、3：やや多い、4：多い、を達観で評価した。

2. 曲がり程度は0：無し、1：少ない、2：中程度、3：やや多い、4：多い、

を達観で評価した。



写真一1 ウド新品種の緑化栽培における軟化茎